水遊び



感受性を豊かに（五十四）

　**ヤクルト・宮本慎也　引退に思う**

　プロ野球で同級生がユニフォームを脱ぐことになった。昭和四五年生まれの私たちは「○○世代」とか「□□コンビ」とか呼ばれる派手なスター選手が不在の世代ではあるが、宮本選手の他に中日・谷繁選手が今もなお、現役生活を続けるなど息の長い活躍をしている。私が高校三年の時のドラフト会議では、高校生でドラフトの話題となったのは、谷繁、今中、そして、簾内先生が甲子園で対戦した川崎の三人だろうか。そんな中、宮本選手は大学・社会人を経て６年後にプロ入りする。

　人伝の話だが、ある大学にコーチとして招かれたとき、宮本選手が大学生たちに指導したことは「かっこつけるな」の一点だったそうだ。宮本選手自身は、ヒット性の難しい

打球でも、投手に打たれた

印象を与えないよう、簡単

に捌くことを心掛けていた

選手。入場料を払ってでも

そのプレイを見たい選手が、

また一人グランドを去る。

*あしたのために*

 *for tomorrow*

***April 9, 2012→March 1, 2015***

*その１９ September 27, 2013*

北海道小樽潮陵高等学校

*２年E組学級通信　発行者：中矢秀人*

この学級通信は､君たちと私の明日のために、週１回発行する予定です。

　３年Ｆ組担任の大佐賀先生は毎日、『沖に向かって泳ぐ』というタイトルで学級通信を発行しています。私も毎朝読ませていただいていますが、その内容は、政治・経済からマッキントッシュ、映画や読書、飼い猫のことやクラスの生徒へのボヤキなど、多岐にわたっていておもしろい、というよりも勉強になります。そのタイトルの由来について、４月１２日発行の「第５号」で触れているので、少し長くなりますが引用します。

　僕の敬愛する池澤夏樹という作家があるインタビューでこういった話をしていた。

　「ジョン・アップダイクというアメリカの著名な小説家の書評集に “HUGGING THE SHORE”という本がある。『岸にしがみついて』という意味でなかなかこったタイトルである。アップダイクはフィクションという岸辺、書評とは他人の作品に沿った上での文章の作成だということでそのタイトルにしたのだと思う。作家は本当に沖に向かわなくてはいけない人種です」

　「ヘミングウェイは自分の体験を書く。（中略）　しかし自分が体験したことという『岸辺』にしがみついているという意味では、勇気がなかったかも知れない。それが晩年になって彼を非常に辛いところに追い込んだかも知れないね」

　沖に向かって泳ぐタイプか、岸に沿って泳ぐタイプか・・・。

　このたとえ話を、私は非常におもしろく思います。創造力にも想像力にも満ちあふれた文章を『沖に向かって泳ぐ』とするなら、私の書いている雑文は『岸にしがみついて』すらいず、せいぜいが、波打ち際でピチャピチャ足をぬらす程度のものと気付かされます。

　２学期中間考査前に「君たちにとっての１週間後の未来なんか簡単に変えられる」と書いてから３週間が経ちますが、未来を変えることはできたでしょうか。君たちの顔つきを見ていると、いつもと変わらない「現実」と向き合っている人が多くいるようにも思います。一方、私の方は、夏休み終わりぐらいから実はいろいろあって、美術部に入った息子が夏休み明けにソフトテニス部に転部したりとか、健康診断の血液検査で引っかかったりだとか、中間考査３日目にオートバイの前輪に針金が刺さっていてパンクしていたりだとか、北照高校に負けたりだとかしていました。この１ヵ月ほどの間に、良くも悪くもない普通の出来事が一つ、はっきり良くないことが三つ起こったわけです。良くないことが起こるともちろん気持ちの中ではモヤモヤしたものがたまりますが、良くないことが良くないまま終わることはあまりなくて、パンクに気づいて飛び込んだガソリンスタンドでは、エアーをパンパンに入れて様子を見てくれて、「１キロぐらい先にバイク屋がありますよ」と親切に教えてもらいました。そのバイク屋では、「応急処置はしましたが、タイヤごと変えた方がいいですよ」と丁寧なアドバイスをもらい、そして行きつけのバイク屋まで無事にたどり着きました。トラブルがあったからこそ、人の親切に触れることができ、同時にモヤモヤも解消しました。

　夏休み終わりに受けた健康診断ではやらかしてしまいました。平たく言えば、いろいろなものがたくさん出てきてしまったのです。先日受けた再検査の前に、「野球部の合宿明けで調整が間に合わなかった」などと職員室で話していたら、「試験勉強しなかった生徒の言い訳みたいだね」と増田２学年主任から温かく指導して頂きました。約１ヵ月間入念に調整して受けた精密検査の後、医師の問診を受けたのですが、「まだ若干数値の高いものがあるものの、通院や投薬の必要はないでしょう」とのことで、ひとまずホッとしました。「今回の追試は一応ギリギリで合格だけど、今度からしっかりやれ」といったところでしょうか。こちらのモヤモヤもお陰様で解消しました。

　北照高校には完敗しました。こればっかりは、何ともならないようです。野球のモヤモヤはやはり、野球で解消するしかありません。

　２年Ｅ組の様子は、私は見学旅行を心から楽しみにしているのですが、まだ君たちの中に浮ついた様子はありません。週に何度かは朝学習のプリントが教卓の上にまとめておいてあるのですが、気がつくと一人ひとりの机上に置かれていたりして、気配りのできる生徒がいるんだなぁとほんわかした気持ちになります。見学旅行のすぐ後からは、３年生になったときの科目選択について決めなければなりません。今のうちから志望校の受験科目を調べて、どの科目にするか考えておいてください。以上で、本日の波打ち際でのピチャピチャ水遊びは終了です。

　保護者の皆様へ

　先日は保護者進路説明会へのご出席ありがとうございました。平日の食事支度時の忙しい時間帯でしたが、１３名の方に出席して頂きました。進路の話題ほか、見学旅行、科目選択などの話がありました。今一度、資料を基にそれらについてお子様と話をして頂ければ幸いです。

　欠席された保護者の方は、生徒に資料を手渡しましたので、ご一読下さい。

　３年次科目選択について

　君たちは、教育課程の移行期にあたり、少しややこしい学年です。私自身、まだまだ研究する必要があるので、今日はおおざっぱなものだけ提示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **地理歴史・公民** | 地理研究③ | 政治・経済③ |
| **数　学** | 数学Ⅲ⑦ | 発展数学Ⅰ④＋発展数学Ⅱ③ |
| **理　科** | 化学④ | 化学研究②＋生物研究② |

　各教科とも、表の左か右かの選択です。志望校の受験科目として必要かそうでないかをまず基準にして、今から調べたり考えたりしておいてください。